

科目名	スポーツ実技 I	英文表記	Physical Education I	平成23年度3月		
科目コード	3009					
教員名： 末吉つねみ				作成		
技術職員名：						
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全コース	3年	必	履修	1単位	演習	前期
目標及び評価方法	目標項目		評価方法及びその割合			
	各スポーツの実践方法、基本的技術や戦術を習得する。生涯にわたり自発的にスポーツを実践し、継続して身体活動を行う習慣を身につける。		各種目の実技（スキルテストと授業内観察評価）を70%、各種目に対する取り組み（実技に対する意欲・興味・関心・態度、チームへの貢献）を30%の割合で評価する。			
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	
		○		◎	JABEEプログラム教育目標	
授業概要、方針、履修上の注意	<p>【授業概要と方針】</p> <p>球技、水泳等の実践方法、各スポーツに必要な体力、技術および戦術について学習する。各スポーツのルールやマナー、安全対策について学習する。</p> <p>各スポーツ種目の学習はグループ学習を基本とする。球技ではチーム戦術研究、作戦の立案を反省を通して自己学習能力を身につける。</p> <p>【履修上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実技では半袖シャツと短パン（ハーフパンツ可）を着用すること。</li> <li>・アクセサリや腕時計等は安全のため外すこと。</li> <li>・やむを得ない事情によって見学を希望する場合は、授業開始前に見学届を提出すること。</li> </ul>					
教科書・教材	各スポーツの基本ルールと技術についてのプリント（教員自作）、作戦および自己評価カード（教員自作）					
授 業 計 画						
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容		予 習 項 目	
1	授業ガイダンス バドミントン	2	授業の進め方の説明。基本技術（ストローク、サービス）を習得する。			
2	バドミントン	2	基本技術（ストローク、サービス）、基本ルールを習得する。スキルテスト、試合を行う。			
3	バドミントン	2	基本技術（ストローク、サービス）、基本ルールを習得する。スキルテスト、試合を行う。			
4	バドミントン	2	試合（主にダブルスゲーム）を通して、バドミントンの実践能力を身につける。			
5	バレーボール	2	基本技術（サーブ、レシーブ、トス、スパイク）を習得する。			
6	バレーボール	2	基本技術（サーブ、レシーブ、トス、スパイク）を習得する。スキルテスト、試合を行う。			
7	バレーボール	2	基本技術（サーブ、レシーブ、トス、スパイク）を習得する。スキルテスト、試合を行う。			
8	バレーボール	2	試合、作戦の立案を通して、バレーボールの実践能力を身につける。			
9	バレーボール	2	試合、作戦の立案を通して、バレーボールの実践能力を身につける。			
10	空手	2	基本動作（つき、けり、受け）を習得する。空手の型を覚える。			
11	空手	2	基本動作（つき、けり、受け）を習得する。空手の型を覚える。		空手の型を覚える。	
12	空手	2	グループで発表する。			

13	水泳	2	クロール、平泳ぎの基本技術を習得する。	
14	水泳	2	クロール、平泳ぎの基本技術を習得する。	
15	水泳	2	クロール、平泳ぎの基本技術を習得する。 記録を測定する。	
	前学期期末試験			
<b>学習時間合計</b>		<b>30</b>	<b>実時間</b>	<b>25</b>
<b>学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など）</b> 記入不要→この科目は履修形態のため、この欄の記入は不要				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。（50分＝1、100分＝2）